



進路だより

茨城県立大子特別支援学校

働きがい推進部

令和5年度 No. 1

可憐に咲くりんごの花から、ほんのり甘い香りが漂う春爛漫の季節となりました。保護者の皆様には、日頃から本校のキャリア教育や進路指導へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

令和5年度も引き続き、進路だよりを通して、進路に関する情報や児童生徒の学習の様子などをお知らせしていきます。今回はキャリア教育と「キャリア・パスポート」についてお伝えします。

キャリア教育とは



一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、**キャリア発達**を促す教育

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(中央教育審議会答申 平成 23 年 1 月 31 日)より引用

Q キャリア教育の中の“キャリア”って なに？

A 人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねのことです。

家庭での
役割

地域での
役割

仕事での
役割

Q 「キャリア発達」って なに？

A 社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいいます。

キャリア教育は、職場体験や進路指導だけでなく、学校の教育活動全体を通して行い、小学部では、自分の好きなことや、できることを見つけていき、自分の役割を果たす経験を積んでいきます。中学部では、それらを踏まえ、人の役に立つことの大切さや自分の将来や生き方について深く考えていきます。

学習の中では、「キャリア・パスポート」を作成・活用することで、学びを蓄積し、必要に応じて振り返ることにより、主体的に学びに向かう力を育て、子どもたちのキャリア形成に生かしていきます。

「キャリア・パスポート」とは

児童・生徒が、自らの学習状況や日常生活等の振り返りをしながら、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫した教材です。作成にあたっては、教員が対話的に関わり、児童・生徒が新たなことに気付き、自己の生き方につなげようとする力を養うよう努めなければならないとされています。

参考・引用資料

- ・「キャリア・パスポートってなんだろう」(文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 平成 30 年 5 月)
- ・「キャリア・パスポート Q&A」(文部科学省 初等中等教育局児童生徒課 令和4年3月改訂)

「振り返り」と「見通し」
の繰り返しが大切

振り返り



見通し





「いばらきキャリア・パスポート」の本校での活用方法

本校では、小学部から中学部を通じて、自分の学習状況や成長に見通しをもったり、振り返ったりして、自己評価を行うと共に、自分から進んで学ぶことができる力を育み、自己実現につなぐことを目的として、「いばらきキャリア・パスポート」を作成しています。

1学期

2学期

3学期



小学部：『こんな自分になりたい!』という思いや理想から目標を立て、振り返ります。

中学部：『将来の夢や、やりたいこと』に近づくために今がんばることを目標にし、振り返ります。

各学期「いばらきキャリア・パスポート」を活用して、学校と家庭での目標を立て、振り返りを行う予定です。また、今年度から、学校で各学期の目標決めや振り返りを行った後に、ご家庭へ持ち帰り、家での目標を決めたり、振り返りを行ったりする取り組みをお子様と一緒に行っていただきたいと思います。詳しくは、4月29日（土）の部懇談でお知らせします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「いばらきキャリア・パスポート」の作成について保護者の皆様へお願い

お子様の自己理解を深め、人の役に立った、認められたという自己有用感を高めたり、お子様の学びや成長の軌跡を、学校と家庭の両方で積み重ねていったりするために、以下のことをお願いします。

- ・ご家庭では、お子様と無理なく一緒にできることを目標にしてください。
- ・目標にしたことが達成できなくても、それまでのプロセスや、やる気を評価していただくなどお子様の学びや成長と一緒に振り返る機会を設けたり、励ましの言葉をかけたりしてください。